

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表（公表）

公表： 2021 年 2 月 6 日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」鈴鹿校

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6	1		法令で遵守したスペースを確保しています
	②	職員の配置数は適切であるか	5		2	法令で必要とされる配置数に加え、指導員を1名以上（常勤換算による算定）配置しています。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	4	2	1	視覚的にわかりやすく工夫するなど障がい適正に配慮した環境づくりを行っています。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	4	1	2	職員間で話し合いをして、少しずつ改善しています。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	7			保護者向けアンケートを実施しています。それをもとに業務改善を行っています。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5	2		当社ホームページにて公開しています。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	3	1	3	現在は、利用者・社内の2者評価をとっております。第三者による外部評価については、現在実施の予定はありませんが、今後、必要に応じて実施を検討してまいります。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	3	2	2	新型コロナウイルスの影響もあり今年度はあまり確保できていません。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	6	1	1	計画期間ごとにアセスメントをとったうえで、個別支援計画を作成しています。また、統一したアセスメントシートを使用しています。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5	1	1	計画期間ごとにアセスメントをとったうえで、個別支援計画を作成しています。また、統一したアセスメントシートを使用しています。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5	1	1	随時、話し合いの場を持っています。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6	1		個に応じた支援内容を考え、効果的に楽しく学べるようにしています。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	7			アセスメントを元に、優先順位をつけて長期目標と短期目標を設定した、個別支援計画を策定しています
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	7			個別活動が中心ですが、適宜、集団活動も取り入れています。

	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	1	4	2	朝礼を実施して、職員間で情報共有を行っています。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	2	1	4	その日利用した利用者の情報を共有しています。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6			毎回指導記録をとり、見直すことでお子様の成長や取り巻く環境の変化に合わせて、指導内容や方法を更新しています。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	6	1		6か月に1度、モニタリングを行い、見直しを行っています。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	3	4		適切な支援に努めています。
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5	1	1	担当者会議にはあらかじめ指導員から利用者の情報を聞いた児童発達支援管理責任者が出席します。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	7			学校からや保護者からの要望にお応えして、学校へ支援方法の提案を行っています。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			7	現在、医療的ケアを必要とする利用者を受け入れていません。受け入れる場合は主治医のご意見を伺って体制を整えます。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	4	3		要望があれば、就学前会議等に参加して、情報提供をしています。問い合わせがあればいつでも対応できるようにしています。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	2	3	2	きりでの様子をまとめた書類を用意して、いつでも情報提供できる体制を整えています。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3	2	2	連絡をとりやすい環境にして、何かあれば、助言をいただいています。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	1	5	地域交流については、限られた支援時間で実施が難しいため利用者全員に実施することはしておりません。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	2	1	4	鈴鹿市の連絡協議会に参加しています。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7			毎回、支援終了後、保護者との話し合いの機会を設けています。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	4	1	2	家庭で実施していただける内容の情報提供をしています。

保護者への説明責任等	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5	1	1	契約時に丁寧に説明するとともに事業所内に重要事項説明書を掲示しています。
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	7			支援後や日時を設定して随時、相談にのっています。
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	3	1	3	今年度は、実施できませんでした。来年度保護者会が実施できるようにいたします。
非常時等の対応	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6	1		苦情受付者を設定して苦情受付体制を整えています。いただいた苦情には迅速かつ適切に対応しています。
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5	1	1	FB やブログなどで活動内容を周知できるように努めています。
	③⑮	個人情報に十分注意しているか	7			個人情報が記載された書類は鍵付きに書庫へ保管しています。また、個人情報にアクセスできる端末には、パスワードを設定して適切な対応を行っています。
	③⑯	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7			利用者様やご家族様の状態に応じて、適切に意思疎通、情報伝達を行っています。
	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		2	5	地域住民を招待する活動は行っていませんが、いつでも見学可能な状況にあります。
	③⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	6	1		マニュアルを作成して、研修を行っています。
非常時等の対応	③⑲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	7			定期的に訓練を行っています。
	④⑰	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4	3		マニュアルを策定し、研修を実施しています。
	④⑱	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	5	1	1	現在は、身体拘束をしている利用者様はみえませんが、身体拘束をする場合は、保護者に十分説明をして個別支援計画へ記載します。
	④⑲	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	4			契約時にアレルギーの有無を確認しています。
	④⑳	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	4		2	ヒヤリハット事例が起こった際には、ヒヤリハットの報告書を作成・保管し、職員間で共有しています。

保護者等向け 放課後等デイサービス評価の集計結果（公表）

公表： 2021年 2月 6日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」鈴鹿校 保護者等数（児童数）：13 回収数： 7 割合： 54%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見、ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	85%	15%		
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	85%		15%	
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	85%	15%		
適切な支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画 ⁱ が作成されているか	100%			
	⑤	活動プログラム ⁱⁱ が固定化しないよう工夫されているか	100%			
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	28%	44%	28%	
保護者への説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	100%			
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	100%			
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	100%			
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	43%	43%	14%	
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	72%	14%	14%	
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	100%			
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	72%	28%		
⑭	個人情報に十分注意しているか	100%				

非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	72%	28%		
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	85%		15%	
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	85%		15%	
	⑱	事業所の支援に満足しているか	100%			

i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

ii

事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。